

危険物取扱者 [乙種・性消(第1類危険物)・正誤(4)]

<一問一答>

正しい文章には○を、誤っている文章には×を、それぞれ記号で答えよ。

- (1) 第1類の危険物は引火性物質である。【 】
- (2) 第1類の危険物はいずれも潮解性がある。【 】
- (3) 過酸化カリウムはアルコールとの接触を避けて取り扱う。【 】
- (4) 塩素酸塩類の火災には、水を放射する。【 】
- (5) 塩素酸カリウムは酸性溶液中では、酸化作用は抑制される。【 】
- (6) 過塩素酸カリウムは粉じんを吸い込まないように取り扱う。【 】
- (7) 過酸化カルシウムは橙色の粉末である。【 】
- (8) 臭素酸ナトリウムは加熱によって分解し、臭素を放出する。【 】
- (9) 硝酸カリウムは加熱により酸素を発生する。【 】
- (10) ヨウ素酸カリウムはヨウ化カリウム水溶液に溶ける。【 】
- (11) 過マンガン酸ナトリウム三水和物は潮解性がある。【 】
- (12) 重クロム酸カリウムの比重は1より大きい。【 】
- (13) 重クロム酸アンモニウムは加熱すると窒素ガスを発生する。【 】
- (14) 過ヨウ素酸ナトリウムは吸引または飲み下すと有害である。【 】
- (15) 三酸化クロムは強酸に溶けない。【 】

危険物取扱者 [乙種・性消(第1類危険物)・正誤(4)]

<一問一答>

正しい文章には○を、誤っている文章には×を、それぞれ記号で答えよ。

- (1) 第1類の危険物は引火性物質である。 【×】
第1類の危険物は一般に不燃性物質である。
- (2) 第1類の危険物はいずれも潮解性がある。 【×】
第1類の危険物には潮解性のない物質もある。
- (3) 過酸化カリウムはアルコールとの接触を避けて取り扱う。 【○】
可燃物との接触は避ける。
- (4) 塩素酸塩類の火災には、水を放射する。 【○】
注水して消火するのが効果的である。
- (5) 塩素酸カリウムは酸性溶液中では、酸化作用は抑制される。 【×】
酸性溶液中で酸化剤としてはたらく。
- (6) 過塩素酸カリウムは粉じんを吸い込まないように取り扱う。 【○】
粉じんを吸い込まないように注意する。
- (7) 過酸化カルシウムは橙色の粉末である。 【×】
無色の粉末である。
- (8) 臭素酸ナトリウムは加熱によって分解し、臭素を放出する。 【×】
加熱すると臭化ナトリウムと酸素に分解する。
- (9) 硝酸カリウムは加熱により酸素を発生する。 【○】
加熱により酸素を発生する。
- (10) ヨウ素酸カリウムはヨウ化カリウム水溶液に溶ける。 【○】
ヨウ化カリウム水溶液に溶ける。
- (11) 過マンガン酸ナトリウム三水和物は潮解性がある。 【○】
潮解性がある。
- (12) 重クロム酸カリウムの比重は1より大きい。 【○】
比重は2.7で1より大きい。
- (13) 重クロム酸アンモニウムは加熱すると窒素ガスを発生する。 【○】
加熱すると分解して酸化クロム、窒素、水を生成する。
- (14) 過ヨウ素酸ナトリウムは吸引または飲み下すと有害である。 【○】
吸引または飲み下すと有害である。
- (15) 三酸化クロムは強酸に溶けない。 【×】
硫酸や塩酸などの強酸に溶ける。